

なからぎ

183号

2008年4月

『三国志演義』と萬葉集

附属図書館長 山崎 福之

『三国志演義』（小川環樹訳・岩波文庫・昭和二十八年初版）は、間違いなく私が最も数多く再読した本である。一々数えたことはないが、専門の研究対象としている萬葉集を全巻通読するよりも、はるかに多いに違いない。千八百年前の中国、後漢末期の争乱から司馬氏の晋による統一まで数十年間の、英雄豪傑が活躍する波乱万丈の物語である。

確か中学生の時、兄の読んでいた本を覗き見たのが最初だったと思う。「果たして董卓（とうたく）の命はいかになりましょうか。それは次回に解き明かすのをお聞き下さい」という講談調とも言うべき独特の文体に惹かれて、たちまちとりこになった。劉備・關羽・張飛、そして神懸かり的な智謀の諸葛孔明ら善玉の蜀の人物だけではなく、敵役の魏の曹操や司馬懿（しばい）も、呉の孫権や周瑜（しゅうゆ）も、生き生きとした人間的魅力に溢れており、彼らの厳しい生き様に心奪われていた。ただその物語の面白さにばかり陶然として、中国小説史研究の精髓の詰まった詳しい解説や補注には目を向けていなかった。

大学の専門課程に進んで本格的に日本の古典文学、中でも萬葉集の勉強を始めるようになってから、『文選（もんぜん）』や『芸文類聚（げいもんるいじゅう）』など中国文学の詩文を学ぶ上での基本書の存在を知った。それら唐代初期までに成った中国文学の数々（漢籍）こそは、仮名の発達する以前に成立し、すべて漢字（万葉仮名）で記されている萬葉集を読み解こうとする際に、必須の資料なのであった。そしてそこで学ぶべきことの多くが、三国志の世界と驚くほど重なっていたのである。曹操の病の治療に臨みながら疑獄に落ちて獄死した名医華佗（かだ）の名は、山上憶良の名文「沈痾自哀文（じんあじあいぶん）」（萬葉集巻五）に登場する。また北伐に臨む諸葛孔明の至情溢れる「出師表（すいしのひょう）」は『文選』巻三十七に見え、晋の大將として呉征討を指揮した杜預（とよ）は、古代の教養書とも言うべき『春秋左氏伝』の注釈を著している。いずれも萬葉集研究に欠かせぬ漢語考証の基礎となるものなのである。

近年私の書く論文に『文選』を引用しないことなどほとんどない。今にして思えば、深い考えもなくただ面白いから読みふけた本の世界と、いつしか切り離せないところに来ていることが不思議でならない。この府立大学で日本・中国文学科という類例のない学科に所属すること、そして同僚に『三国志演義』研究で指折りの小松教授と三国時代の詩文を専門とする林准教授の存在。すべてこの一連の繋がりにあるようで、空恐ろしい気にもなる。すべて「出会い」と言ってしまえばそれまでだが、多感な青春期に心の底に届いた本には、何かしらその人の感性、感覚の内奥と結びつくところがあるように思える。「徹底的に読む」こと、「何かを得るため」ではなく、ただ文字通り「耽読」することに実は計り知れない意味が、価値が、あるのかもしれない……。そう思って、まず一冊の本を手にとってみることを、新米の図書館長からのお勧めとしたい。

（やまざき よしゆき：文学部教授）

ご紹介の「文選上・下」（中国の古典23-24）学習研究社1985年刊（請求記号082 〓 C 〓 23-24）、「芸文類聚」上海古籍出版社1999年刊（請求記号032. 2 〓 G 〓 1-2禁帯出）、「萬葉集巻五」「新日本古典文学大系1」岩波書店1999年刊所収（請求記号918 〓 S 〓 1）、「春秋左氏伝」（鑑賞中国の古典6）角川書店1989年刊（請求記号082 〓 K 〓 6）を2階閲覧室入口の新着図書コーナーに配架しておりますのでご利用ください。その他多数類書等があります。（『三国志演義1-7』（ちくま文庫）井波律子訳 筑摩書房2002-2003年刊（請求記号923.5 〓 R 〓 1-7）を2階閲覧室入口の新着図書コーナーに配架しております。）

わが浪人時代 —ジャズ喫茶と読書— (東京新宿編)

図書館運営委員 藤原英城

私が高校を卒業したのが昭和55年(1980)のことだから、今から30年ほど昔のことである。受験に失敗した私は、心機一転郷里を離れて東京で浪人生活を送ることにしたが、なんせ東京のことを何も知らない田舎者のこと、予備校が御茶ノ水にあったにもかかわらず、荻窪にアパートを借りたことが運の尽きであった。たしかに中央線を使えば乗り継ぎなしで一直線に通えるのだが、そこには大きな関門がひかえていた。新宿である。

新宿は私にとって越すに越せない関所であった。最初に断っておくが、なにも風俗遊びに熱中していたわけではない。当時の私にとって新宿は、都会の喧騒と孤独と猥雑の入り混じった少し危険な香のする空間であったが、特にジャズ喫茶は息も詰まるほどのタバコの煙と大音量で田舎者を圧倒した。だいたい昼過ぎにのそのそと布団から這い出し、当時できたばかりであった新宿アルタ裏のレストランアカシアでロールキャベツを食べ、そのまま2Fにあったジャズ喫茶DIGに直行するのが日課であった。紀伊国屋書店地下のDUG、コマ劇場近くの木馬などをハシゴし、終電近くにご帰宅ということもしばしばだった。今思うと酒も飲まずによく我慢したものだと感心するが、コーヒー一杯でねばる客はさぞ迷惑だったことだろう。しかし、まわりの客もたいてい同じだったようにも記憶する。ジャズ喫茶が姿を消したのも道理である。

私は書を捨てて町に出る度胸もなく、書を携えて新宿に出た。といえ少しカッコよすぎるが、ジャズ喫茶ではとにかく本を読み漁

った。当時のジャズ喫茶は話し声はもちろん、コーヒーカップやスプーンの音でさえ睨まれる修行堂のような場所であり、まさに求道者の集まる聖なる?空間であった。照明は薄暗く、かすかな灯りの下でよく本が読めたものだと思うが、そのせいで視力は見る見る低下した。当時早稲田に入学した同級生がよく遊びにきたが、その眩しいキャンパスライフを見聞きするにつけ、大学生に負けない教養を身に付けなければならないという、ある種の強迫観念のようなものに取り憑かれていたのかもしれない。DIGでは当時慶応大学の教授でありジャズ評論家であった鍵谷幸信氏や岩浪洋三氏に出会い、さすが東京と興奮したものであった。

高校時代ほとんど読書をしなかった私が本を読むきっかけになったのは、思い起こせば、例の早稲田の友人と後楽園ホールに今はなき国際プロレスの試合を見に行ったことであろう(お前は浪人生だろうが……)。ラッシャー木村、ジプシージョーの試合の興奮も覚めやらず会場を後にしたとき、ちょうど後楽園の広場のようなところで古本市が催されており、特価本のワゴンに務合理作著『現代のヒューマニズム』(岩波新書)があった。とくに興味があったわけではなかったが、それが一番汚れがなくピカピカだったので買って来たまでのことであった。たしか50円か100円ほどであったと思うが、今それを本棚の奥から引っ張り出してみると、「1980年4月20日 第22刷発行」と奥付にある。まともな読書経験もなく地方プチブル家庭で苦勞もなく育った私にとって、それ

は少し高尚で、どこか反体制的なニオイのするもののように感じた。次の個所に赤線が引いてある。

人間の創造力というと、何か神秘的で不可知的なア・プリオリの能力があって、それが或る人には恵まれ、或る人には恵まれないというように、いわば天とかダイモニオンから与えられる能力のように考えられるが、これはまちがいで、神秘的で不可知的な、そんな能力が別にあるわけではありません。すべてそれは人間が自然史の過程の中で、自然的・社会的条件によって作られながらまた作り出したものなのです。(176ページ)

動物の赤ちゃんが最初に見たものを母親と思い込むように、この本が、この本のもつ雰囲気のようなものがわが浪人時代を支配した(今なお文学を即物論的にしか見られないのはこのせいかな?)。今から思うと大きな錯覚であったが、本書に出てくるヘーゲル、フォイエルバッハ、マルクス、デカルト、カント、パスカル、ハイデッガー、サルトルなどは大学生なら知っているはずのものと思い込み、それらに関するものはわけもわからず読んだ。「哲学者たちは世界をさまざまに解釈したにすぎない。しかし問題は世界を変革することにある」(「フォイエルバッハに関するテーゼ」)、「実存は本質に先立つ」(サルトル)などと嘯いていたのもその頃であった。読書は岩波新書が中心ではあったが、哲学書も読んだ。もちろん読むといっても当然

翻訳書であるが、とにかく岩波文庫の青帯と白帯に闇雲に挑んだ記憶はある。岩波青年だったのである。

当時の岩波文庫はパラフィン紙のカバーであったが、貧弱なわが書斎の文庫本棚を見渡すと、ほとんどのものがパラフィン紙であり、今となってはそれが黒ずみ、老眼と相俟ってすぐには背表紙が判別できないものが大半となっている。『饗宴』(プラトン)『方法序説』(デカルト)『純粹理性批判』(カント)『不安の概念』(キェルケゴール)『ドイツイデオロギー』(マルクス)『実践論・矛盾論』(毛沢東)……、時の流れとは言いながら、感慨なきにしもあらずであるが、とにかくそうした本を携え、日々ジャズ喫茶に通ったわけである。特にコルトレーンを聴きながらの『ツァラトゥストラはこう言った』(ニーチェ)は格別であった。

偉大なる天体よ！もしあなたの光を浴びる者たちがいなかったら、あなたははたして幸福といえるだろうか！

(氷上英廣訳、9ページ)

なんとシビレルではないか！人類の苦悩を一身に背負ったフジワラ青年はニヒルに新宿の闇に消えるのであった。それが「悲劇の誕生」であることも知らずに……。

——こうしてツァラトゥストラの没落は始まった。

翌年、京都での浪人生活がまたはじまるのであったが、その続きはまたの機会に。

(ふじわら ひでき 文学部准教授)

ご紹介の『饗宴』「西洋古典叢書；G054」京都大学学術出版会2007年刊所収(請求記号131.3 || P)、『純粹理性批判』「カント全集6」岩波書店2006年刊所収(請求記号134.2 || K || 6)、『方法序説』「デカルト著作集1」白水社2001年刊所収(請求記号135.23 || D || 1)、『不安の概念』「世界の名著40」中央公論社1966年刊所収(請求記号081.6 || S || 40)、「ドイツ・イデオロギー」新日本出版社1998年刊(請求記号309.3 || M || 1-2)、『実践論・矛盾論』「世界の名著64」中央公論社1969年刊所収(請求記号080 || S || 64)、『悲劇の誕生』「筑摩世界文学体系44」1972年刊所収(請求記号908 || C || 44)は、2階閲覧室新着コーナーに配架していますのでご利用ください。なお、務台理作「現代のヒューマニズム」岩波新書、及び氷上英廣訳「ツァラトゥストラはこう言った」岩波文庫については、藤原先生にお尋ねください。(『饗宴』『純粹理性批判』『方法序説』『不安の概念』『ドイツ・イデオロギー』『悲劇の誕生』は、図書館に所蔵されているもののうち、最も新しく刊行された図書のみをご紹介します。また、『ツァラトゥストラ』は、ご紹介の氷上英廣訳ではありませんが、『ツァラトゥストラはかく語った』として、上記「筑摩世界文学体系44」1972年刊(請求記号908 || C || 44)等に掲載されていますのでご利用ください。)

図書館を

入学おめでとうございます。
 既に在学されている方は、気分を新たに今年度もがんばろう
 だと思います。
 さて、そんなフレッシュな気持ちの今、ちょっと図書館をの
 古いし、小さいし、行っても仕方ない... そう思っている方は
 しかし、小さいけれど、日本中いや世界中の図書館に通じる
 こんなこともできるんです。
 コンパクトで使い易いなあ、そんなふうにも思ってもらえれば
 学生生活のお伴にぜひ図書館を！
 皆さんのお越しを心からお待ちしています。

1回生

とりあえず、入ってみよう！

- * 図書館利用カードの申請をする。
- * どんな本があるのか、閲覧室の書架をながめる。
- * 図書館 HP の「図書検索」で、自分の読みたい本があるか検索してみる。
- * インターネットを利用する。

パスワードを登録することで、HP
 から、論文の取寄、貸出中の本の
 予約が可能です。
 (要カウンターで事前登録)

図書館の本を
 コピーする。
 (カウンターで
 要申請)

※著作権法に基づき、
 コピーサービスをして
 います。自分の
 ノート等はコピーで
 きません。

大学のLAN経由と
 いうことを念頭にお
 いて節度ある利用を
 お願いします。

便利な+

図書館内のPC
 便利な論文や図

- 論文
 CiNii (国立
 国会図書館
 国文学研究
 AGROPEDIA
 PubMed (米
 サービス)
- 図書 (所蔵)
 NACSIS Web
 京都府図書館
 (京都府内の

2回生

レポート作成や読書のため
 に、どんどん利用しよう！

- * 探していた本が所蔵されていなかったの、学生
 希望図書制度を利用してリクエストする。
- * 検索結果の所在が、書庫や研究室のものも、
 カウンターで場所を聞いて行ってみる。

図書館の便利な利用
 法の情報も載ってい
 ます。

図書館 HP
 → 蔵書検索
 論文の取寄の申込
 電子ジャーナル
 etc.

<http://www2.kpu.ac.jp/tosh>

入学式
 案内」

利用しよう!

と、決意されているところ
のぞいてみませんか?
はありませんか?
窓口なのです。あんなこと、
らよう職員一同日々奮闘中。

本の探し方がわからない。
探している本が見つからない。
書庫の場所はどこ?
雑誌に載っている論文の調べ方がわからない。
etc.
遠慮なく図書館職員におたずね下さい。

3年生

自分のテーマを見つけよう!

*雑誌の中に載っている論文を調べる。

*3階の共同研究室で、友達と勉強会をする。
3階の個室で、一人静かに勉強する。
(事前にカウンターで要申込。当日でも可)

サイト

このインターネットのお気に入りには、
図書館の検索サイトを登録しています。

情報学研究所論文情報ナビゲータ
図書館雑誌記事索引
資料館論文データベース
(農林水産情報総合案内 By 農水省)
米国立医学図書館提供の医学情報

ほか

検索)
occat (全国の大学図書館をまとめて検索)
館総合目録ネットワーク
公共図書館をまとめて検索)

ほか

4年生

4年間の集大成。
卒論執筆。

*学内にない資料を利用する。
(他大学図書館への閲覧依頼、雑誌論文・図書の取寄)

*データベース・電子ジャーナルを利用する。
(詳細は、図書館HPを参照)
学外からもアクセスできるものもあり。
(学外アクセスは事前にカウンターで要申込)

論文の取寄は、パスワード
を登録することで、HPから
可能です。
(要カウンターで事前登録)

カウンターで
要事前申請

案内・お知らせ

図書館報「なからぎ」
4月、7月、10月、1月
の年4回発行
(図書館HPから、バック
ナンバーも読めます)

okan/fudaitosho.html

でお渡ししたグリーンの「図書館利用
も参考にしてください。

府立医大の附属図書館を利用すること
ができます。貸出も可能です。
(府立医大附属図書館カウンターで、本学学生証を
持参し、事前に登録してご利用下さい)



府大生の読書傾向 ～ 2007年度ベストリーダー～

順位	タイトル / 著書	回数
1	図書館戦争 / 有川浩著	18
2	容疑者 X の献身 / 東野圭吾著	15
2	陰日向に咲く / 劇団ひとり著	15
4	土壌学の基礎: 生成・機能・肥沃度・環境 / 松中照夫著	14
5	手紙 / 東野圭吾著	13
6	海辺のカフカ 上 / 村上春樹著	12
7	図書館危機 / 有川浩著	12
8	たのしく読めるアメリカ文学: 作品ガイド150 / 高田賢一, 野田研一, 笹田直人編著	12
9	ムーン・パレス / ポール・オースター [著] / 柴田元幸訳	12
10	高分子化学 第4版 / 村橋俊介, 藤田博, 小高忠男編著	12
11	夜のピクニック / 恩田陸著	11
11	グラスホッパー / 伊坂幸太郎著	11
11	肩ごしの恋人 / 唯川恵著	11
14	砂漠 / 伊坂幸太郎著	11
14	GO / 金城一紀著	11
16	図書館内乱 / 有川浩著	11
17	はじめて学ぶアメリカ文学史 / 板橋好枝, 高田賢一編著	11
18	チルドレン / 伊坂幸太郎著	10
18	東京タワー: オカンとボクと、時々、オトン / リリー・フランキー著	10
18	魔王 / 伊坂幸太郎著	10
18	ハリー・ポッターと謎のプリンス 上 / J.K. ローリング作 / 松岡佑子訳	10
18	ハリー・ポッターと謎のプリンス 下 / J.K. ローリング作 / 松岡佑子訳	10
18	風に舞いあがるビニールシート / 森絵都著	10
24	終末のフール / 伊坂幸太郎著	10
24	恋愛写真: もうひとつの物語 / 市川拓司著	10
24	秘密 / 東野圭吾著	10

順位	タイトル / 著書	回数
27	重カピエロ / 伊坂幸太郎著	10
27	MVRDV: works and projects 1991-2006 / Michele Costanzo	10
27	日本とアジアの農業・農村とグリーン・ツーリズム: 地域経営 / 体験重視 / 都市農村交流 / 宮崎猛編	10
30	はじめて学ぶ大学の有機化学 / 深澤義正, 笛吹修治著	10
31	単位が取れる微積ノート / 馬場敬之著	10
32	レトリックと人生 / G. レイコフ, M. ジョンソン著 / 渡部昇一, 楠瀬淳三, 下谷和幸訳	10
32	敗北を抱きしめて: 第二次大戦後の日本人 下 / ジョン・ダワー [著] / 三浦陽一, 高杉忠明訳	10
34	ゲームの名は誘拐 / 東野圭吾著	9
34	となり町戦争 / 三崎亜記著	9
34	ひとりずもう / さくらももこ絵と文	9
37	いま、会いにゆきます / 市川拓司著	9
37	生体分子化学 / 秋久俊博, 長田洋子編 / 秋久俊博 [ほか] 著	9
37	まほろ駅前多田便利軒 / 三浦しをん著	9
37	ビタミンF / 重松清著	9
41	高校化学再入門: 大学の化学でつまづいた人へ / 小玉信武著	9
41	海辺のカフカ 下 / 村上春樹著	9
41	鉄鼠 (てつそ) の檻 (おり) / 京極夏彦 [著]	9
44	夜の樹 / カポーティ [著] / 川本三郎訳	9
45	ライフサイエンスのための分子生物学入門 / 駒野徹, 酒井裕共著	9
45	空間デザイン事典 / 日本建築学会編	9
45	ヴォート基礎生化学 第2版 / D.Voet, J.G.Voet, C.W.Pratt 著 / 田宮信雄 [ほか] 訳	9
48	線形代数編 (理系なら知っておきたい数学の基本ノート) / 大竹真一著	9
48	ロング・グッドバイ / レイモンド・チャンドラー著 / 村上春樹訳	9
50	いつか晴れた日に: 分別と多感 / ジェーン・オースティン著 / 真野明裕訳	9
51	コクと旨味の秘密 / 伏木亨著	9
51	敗北を抱きしめて: 第二次大戦後の日本人 上 / ジョン・ダワー [著] / 三浦陽一, 高杉忠明訳	9

今年度の特徴は、いわゆるベストセラーだけではなく、西洋文学や自然科学系の入門書が、上位にランクインしていることです。2006年度から、学生さんの「学び」「調べ」の機能強化ということを中心の一つとして、選書を行っています。その影響が、貸出資料に現れたのではないかと思います。

貸出タイトル数は2月末現在11,068タイトル(昨年度は11,256タイトル)。ちなみに貸出冊数は昨年とほぼ同じ19,432冊(昨年度は19,452冊)でした。

表にリストアップされているのは、その中の上位約100タイトルです。

府大生はこんな本を読んでいるのです。参考にして下さい。

順位	タイトル / 著書	回数	順位	タイトル / 著書	回数
51	グルメの話おいしさの科学 / 伏木亨著	9	76	日本佛教史 1: 上世篇 / 辻善之助著	8
54	天使と悪魔 下 / ダン・ブラウン著 / 越前敏弥訳	8	76	唐代政治社会史研究 / 礪波護著	8
54	八月の路上に捨てる / 伊藤たかみ著	8	76	トマト 第2版(野菜園芸大百科:2) /	8
54	パーク・ライフ / 吉田修一著	8	76	渡来した天台僧達: 日中文化交流史一斑 / 小田切文洋著	8
54	植物分子生理学入門 / 横田明穂編 /	8	76	中世京都の都市と宗教 / 河内将芳著	8
58	大学生の有機化学 / 大野惇吉著	8	76	ドイツ語ステップアップ: 参考書+問題集 新訂版 / 市川明, 木村英二, H.-J. ペピン著	8
58	蛇にピアス / 金原ひとみ著	8	76	キーワードで学ぶドイツ語 600: だじゃれ de ドイツ / Rainer Scheckel, 成田克史編著	8
58	タンパク質実験ハンドブック / 竹縄忠臣編集	8	76	細胞の代謝・物質の動態 / 日本生化学会編	8
58	14歳 / 千原ジュニア著	8	86	キャッチャー・イン・ザ・ライ / J.D. サリンジャー [著] / 村上春樹訳	7
62	はじめて学ぶ大学の物理化学 / 齋藤昊著	8	86	蹴りたい背中 / 綿矢りさ [著]	7
62	太陽の塔 / 森見登美彦著	8	86	天使と悪魔 上 / ダン・ブラウン著 / 越前敏弥訳	7
62	ナショナル・ストーリー・プロジェクト / ポール・オースター編 / 柴田元幸 [ほか] 訳	8	86	アフターダーク / 村上春樹著	7
62	中国歴史研究入門 初版 / 礪波護, 岸本美緒, 杉山正明編	8	86	死神の精度 / 伊坂幸太郎著	7
62	日本沈没 上 / 小松左京著	8	86	空中ブランコ / 奥田英朗著	7
62	TOEIC テスト新公式問題集 / Educational Testing Service [著] / 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会 [編]	8	86	ドロップ / 品川ヒロシ著	7
62	女は見た目が 10 割: 誰のために化粧をするのか / 鈴木由加里著	8	86	分析化学実験 / 梅沢喜夫 [ほか] 編	7
62	フィッシュストーリー / 伊坂幸太郎著	8	86	ティファニーで朝食を 改版 / カポーティ [著] / 龍口直太郎訳	7
70	遺伝学キーノート / P. C. Winter, G. I. Hickey, H. L. Fletcher 著 / 東江昭夫, 田嶋文生, 西沢正文訳	8	95	ダ・ヴィンチ・コード 上 / ダン・ブラウン著 / 越前敏弥訳	7
70	薔薇の名前 上 / ウンベルト・エーコ著 / 河島英昭訳	8	95	巷説百物語 [正] / 京極夏彦著	7
70	手塚貴晴 + 手塚由比建築カタログ / 手塚貴晴, 手塚由比著	8	95	ゲノムサイエンスのための遺伝子科学入門 / 赤坂甲治著	7
73	歴史とは何か (岩波新書: 青 -447) / E.H. カーク著 / 清水幾太郎訳	8	95	カリスマ先生の生物: 7 日間で基礎から学びなおす / 田部真哉著	7
73	土とは何だろうか? / 久馬一剛著	8	95	冷静と情熱のあいだ: Rosso / 江国香織 [著]	7
75	光と水と植物のかたち: 植物生理生態学入門 / 種生物学会編	8	95	白夜行 / 東野圭吾著	7
76	日本佛教史 第1巻: 古代篇 / 家永三郎 [ほか] 監修	8	95	光合成 (朝倉植物生理学講座:3) / 佐藤公行編集	7
76	ドイツ文学案内: 代表的作家の生涯・主要作品・文学史年表・翻訳文献等の立体的便覧 増補改訂版 / 岡田朝雄, リンケ珠子著	8	95	自負と偏見 / オースティン [著] / 中野好夫訳	7

※1. 順位の白抜文字は、学生希望図書(本学後援会寄贈・図書館予算)

※2. 貸出回数と同じものは、貸出人数が多いものを上位としました。

※3.  は『なからぎ』07年4月号で紹介された図書



学外アクセス方法の変更について

2007年末までに図書館を通じて登録された方は、現在、利用できなくなっていることと思います。ご不便をおかけし、申し訳ありません。

現在の学外アクセスは、利用者個人がまず SpringerLink の HP から MetaPressID を取得し、それを図書館で登録して利用可能になります。

お手数をおかけしますが、図書館カウンターで手続きをして下さいますよう、よろしくお願いいたします。

※ MetaPressID の取得登録方法は

http://www.springer.jp/springerlink/SpringerLinkIndiv_Jan2008.pdf を参照していただくか、図書館までおたずねください。

夜間開館の延長について

なからぎ182 (平成20年1月) 号の「平成19年度第2回附属図書館運営委員会開催報告」では、福祉社会学部の昼夜開講に関連して、夜間開館延長の要望があり検討を進めていくことを報告しました。

これは、社会・経済・技術の高度化と複雑化に対応し、社会に出てからも高度で先端的な知識や技能を学ぶ要求が高まっているなかで、本学において社会人コースの創設等社会人の教育機会の拡大が図られ、社会人志願者数が増加していることや、学生生活実態調査のなかで、利用機会の拡大の要望があり、それらにこたえようとするものです。

夜間につきましては、これまで8時まで開館していましたが、本年度から休講期間 (休講期間は4時45分まで) を除きこれを9時までとします。

夜間の実施体制につきましては、これまで本学の院生が5時から8時まで対応していますが、これを9時まで延長することになります。したがって夜間は従来通り資料の貸出・返却の業務が中心となり、資料の検索や希望図書の購入、本学図書館にない資料の借り入れなど、きめ細かいご相談については9時から5時15分までの時間において職員が対応いたしますので、ご了解ください。

カレンダー

2008年4月						2008年5月						2008年6月								
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5					1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	29	30					

【4/1(火)～通常貸出実施
(貸出冊数6冊以内、返却期限2週間以内)】
【～4/9(水)春休み長期貸出図書返却期限】
【4/29(火)〈昭和の日〉】

【5/1(木)～通常貸出実施
(貸出冊数6冊以内、返却期限2週間以内)】
【5/3(土)〈憲法記念日〉】【5/4(日)〈みどりの日〉】
【5/5(月)〈こどもの日〉】【5/6(振替休日)】

【6/2(月)～通常貸出実施
(貸出冊数6冊以内、返却期限2週間以内)】

開館時間等		
通常開館	9:00 - 21:00	
春期休業(2/12～4/9)	9:00～16:45	
休館日	土・日・祝祭日	

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。
「図書館利用カード」は、2階閲覧カウンターでお渡ししています。
入学式でお渡しした「申請書」と学生証をお持ちください。